

2015
第3号
平成27・10・25発行

奉賛会会報

新川神社新庄御鎮座四百年記念事業奉賛会

念願の參集殿(神道道場)上棟式を終えて、 改めて奉賛金のご協力に感謝



奉賛会会長 貫江 和夫

錦秋の候、皆様にはますます健勝のこととお慶び申し上げます。氏子はじめ関係者や多くの企業の皆様のお陰で、無事、上棟をすませることができました。本当にありがとうございました。

皆様には、奉賛金が予定額に達しないということで2次・3次の寄付のお願いをいたしました。その後、氏子の皆さん追加寄付と氏子以外の個人や企業からご寄付をいただき、ようやく目標額に達することができました。

皆々様に、あらためて心からの御礼と感謝を申し上げます。

さて、今後は28年度に催される記念式典及び事業についての検討会が慶祝委員会において進められております。一例を挙げると鷹乃羽雅楽会の奉納演奏会(神事)、神輿渡御・謡曲・詩吟(イベント)など、まだ素案づくりの段階ですが皆様の忌憚のないご意見をお寄せいただけたら幸いです。

また、奉賛会活動を通じての成果として、新しく新庄新川神社「若鷹会」が発足しました。この“若鷹会”では、地元の若い衆が“楽しく活動できる・世代を超えた交流ができる”場として多くの参加を呼びかけています。これから地域を担う若者が積極的に参加し、完成した神道道場で伝統文化の発掘を心から願っております。



神道道場の完成予想図

外構工事について

外構工事には、駐車場の舗装工事、側溝工事及び用水路工事があります。

1. 駐車場舗装工事

構造はアスファルト舗装仕上げとし、面積は $1,045\text{m}^2$ で表層工4cm、上層路盤15cm、下層路盤15cm及び地盤改良50cmと計画しました。

車の出入り口は市道新庄10号線側の中央部で6mに限定し、そのほかはセーフティパイプ(L=3m)で遮断する。しかし、非常時や冬期の除雪時には、取り外せる構造としました。通常の駐車台数は22台(駐車マーク)ですが、非常時には、約30台を駐車することができます。

また、春、秋の祭礼時の道路への自転車放置対策としては、駐車場の一角に臨時の仮自転車置き場を設けることで解消を図りたい。

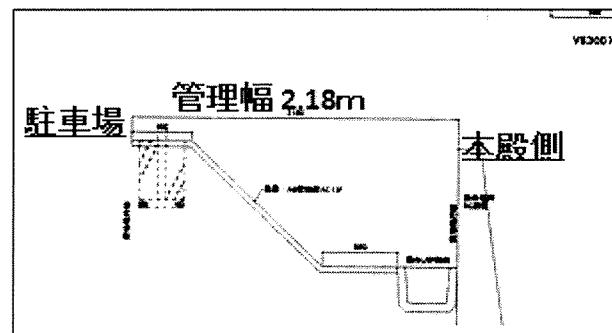
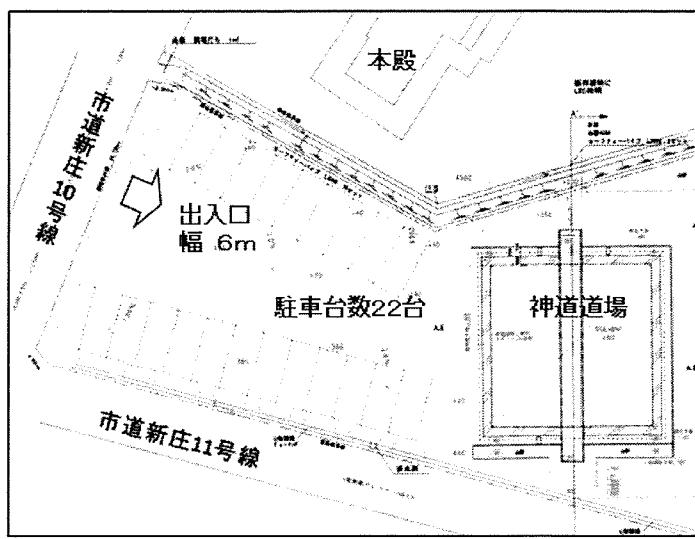
2. 側溝工事

駐車場の雨水処理は、すべて市道新庄10号線、11号線の排水側溝(300×300mm)へ流れるよう配慮し、流下先は市道11号線の排水溝に流し込みます。

また、市道新庄10号線改良の市当局による道路計画案では、道路幅員7.00m(路肩0.5+車道6.0+路肩0.5=7.0m)と決定したが、実際の工事着工は数年先になる見通しであります。奉賛会としては、側溝工事は市当局に事前の確認を得て本年内に施工することにしました。

3. 新庄用水路工事

新川神社南側の新庄用水路は管理幅2.18mを有し、既存U字側溝0.4mに併設して0.5mの管理用通路を設けた。法面は1割勾配でアスファルト仕上げとして維持管理面に配慮した構造とした。



事務長 今井清隆

建設委員会よりの報告

第1回委員会(平成26年7月9日)から第9回委員会(平成27年6月8日)まで、約1年間委員の各位に大変なご協力を賜り、無事に終了させていただきましたことを厚くお礼申し上げます。また、技術アドバイザー(高嶋正児)にも全般に亘り御指導いただき心からお礼申し上げます。

【建設委員会として】

- ① 建物設計に伴った内容について設計業務に120項目の質問をし、約20項目を修正しました。
- ② 基礎工事について、地盤改良、杭配置(碎石パイプ)基礎伏せ等について、協議を行い決定しました。
- ③ 外構工事について、残土を出来る限り最小限として対応する事を基本とし、駐車台数の確保、農業用水の改修、出入口の確保、雨水の排水対策等、市道10号線の拡幅に伴う対応、側溝の対応等、協議を行い決定しました。
- ④ 植栽スペースの造成、外部照明の設置について決定しました。

委員の皆様のご意見をまとめ、最終的に約1年間かけて検討していただきました。その結果、工事の着工が遅れたことをお詫び申し上げ報告とさせていただきます。

奉賛会副会長(建設委員長) 坂野忠雄

これまでの経過報告

- 新川神社奉賛会の平成 27 年度全体会議（総会）が平成 27 年 3 月 23 日に開催されました。平成 26 年度活動報告では、参集殿（以下、神道道場という）が株オリバーに発注されたことや、これから発注する駐車場など外構工事の計画策定作業の状況報告をおこなった。また、奉賛金同意額の目標額 7,000 万円に対して不足しているので、二次募金を行なっている状況の報告や、平成 27 年度の活動計画を提案して了承された。
- 常任理事会の第一回会議が平成 27 年 6 月 29 日に開催されました。外構工事の発注に際しては、駐車場の冬期除雪と非常時に南側市道からも車の乗り入れる提案を行なった。このことにより、事業費総額が 7,150 万円となったことが報告され了承された。
- 神道道場の駐車場及び舗装工事等を株オリバーと工事請負契約を下記のとおり締結しました。

工期：平成 27 年 7 月 3 日～平成 28 年 1 月 31 日

請負代金：1,600 万円（消費税含む）

内容は、駐車場の舗装工事、周辺の排水側溝及び新庄用水路の整備であります。

- これまで奉賛金の同意を得た金額は、次のとおりです。

外構工事の計画を見直したことにより、費用が増加したので、一部の役員や企業及び宮司家縁故者から三次募金を行なった結果、下表のとおり目標額 7,150 千万円をクリアーしました。ありがとうございました。

H27 年 10 月 1 日現在

(単位：千円)

新庄町一 18,614	新庄町第二 4,606	新庄町第三 5,315	新庄町第四 3,361	新庄銀座三丁目 1,463
新園町 3,751	新庄東部 1,559	上庄町 702	新庄銀座 419	氏子計 39,790
宮司家縁故 16,194	企業会社 12,670	用水協議会 3,000	宮・企業計 31,864	合計 71,654

- 神道道場の完成に伴って必要となる机、椅子等の備品は、一般寄付で貰うことで予算計上をしていなかったが、約 200 万円程度必要となることから、これらの経費は、企業、宮司家等による追加寄付金で充当することにしました。

神道道場の基礎工事について

建物の特徴については、前回の第 2 号でお知らせしましたが、今回は基礎工事の概要について報告いたします。

この神道道場建設に際して、最も懸念されたことは軟弱な地盤上に建てるこでした。地盤調査では、2~3m の軟弱地盤の存在が確認されたので、この建物の荷重に見合った杭基礎や地盤改良工法を検討した結果、経済的で環境に優しいスクリュー・プレス工法（碎石パイル）で実施することにしました。

この工法は、径 40 cm の孔を削孔して、その中に専用機械を使って碎石を転圧しながら充填するものであります。施工は碎石パイル径 43 cm、杭長 2.5 m~3.5 m の杭を 61 本使用して地盤改良を行ないました。その上に 15 cm~25 cm の鉄筋コンクリート床板を施して基礎工を仕上げました。

一口メモ

こんな地盤です！

この辺りの地盤は、鳶泥という軟弱な地層で構成されています。今から 157 年前の安政 5 年に発生した飛越地震によって立山カルデラ内の大鳶山・小鳶山が崩れ落ち川を堰き止めて湖を作りました。（いわゆる大鳶崩れ）その後に決壊し富山平野に流れ出し大災害をもたらした。新川神社境内地は微高地で被害に遭わなかつたが、周辺は低地であったので大量の泥水が流れ込み軟弱な地盤が形成されました。

事務長 今井清隆

神道道場の上棟式が行われる

平成 27 年 9 月 28 日（月）午後 5 時より、本殿裏の建設現場にて、神道様式に従い工事の安全を祈願して、神道道場の上棟式が 神様も祝っているような好天のもと、おごそかに執り行われ無事上棟を済ませることが出来たことを関係者の皆様方にご報告申し上げます。なお、駐車場の整備や外構工事など、残されている課題もありますが、来春の完成に向けて着実に準備が進められているところです。

事務長補佐 浦田宗四郎



上棟祭当日



植打の儀



むなぎはらい しほう
棟祓・四方清め祓いの儀



とうりょう 棟梁による振幣

神道道場の上棟式を終え、いよいよ新築・完成へ

奉賛会副会長 細川茂

子供の頃から神仏を尊ぶ日本文化で育ってきた私たちは、今も心の中には神仏が宿っていて、日本人の立派な精神構造をなしているように思います。

そんな意味においても、今度の神道道場の建設は有意義であり、今後末永く新庄地域に住む人々の確かな心の支えになるものと信じます。

この神道道場は、正月・春秋祭礼等の活用をはじめ、次世代を担う子供達や若者そして長寿者などの活動を奨め、神社を中心とした地域社会の形成及び拠点となることを願っています。また、地域社会の親睦を図るために、神道道場を中心にしていろいろな行事を企画し、住民の“絆”を深めていきたいと考えています。

最後に、今回氏子をはじめ他地域の住民の方々、そして地域企業のご理解ある“奉賛金”支援を賜り、目標の 7,000 万円超の額が集まり、ここに改めて感謝申し上げます。ありがとうございました。